

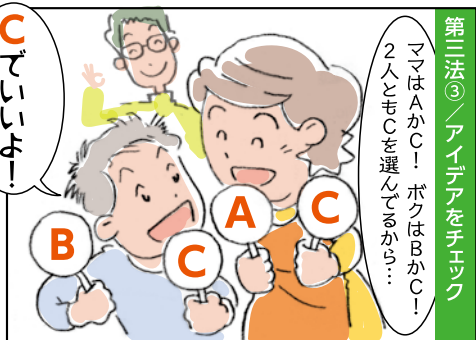
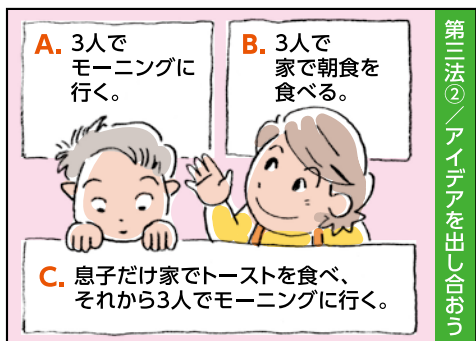
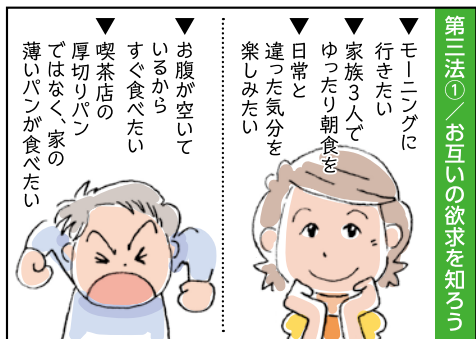
CASE.02… 行くなって決めたじゃない!

幼稚園児のママより 息子は、祖父母宅にお泊りすると、朝食は近所の喫茶店にモーニングに連れて行ってもらう。私もたまにはそんな朝食を家族でしてみたい。金曜日の夜、明日は、3人で(私・夫・息子)モーニングに行こうという話になったのに、朝、息子が「行かない」と言い出した。

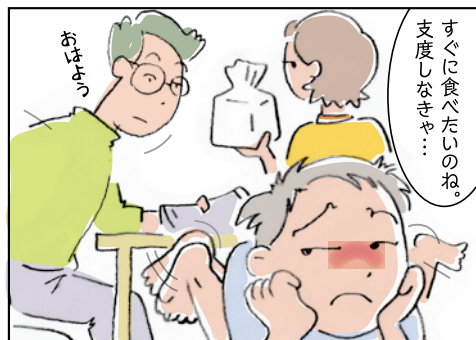
ママの感想

今までなら、息子を優先して、家で朝食を食べるようになっていました。母親の私が我慢するべき、という思い込みがあったからです。今回は、**第三法(勝負なし法)**で対立を解決。夫は、いつもと違う私たちの様子に喧嘩か?と思ったそうですが、喫茶店でご機嫌な私たちを見て「こっぴどいやりとりは大事ななんだな」と。その言葉に、親業の講座を受講し、実践してきた甲斐があったと嬉しくなりました。母にだって、気持ちや欲求、都合があることを伝えることで、息子が理解してくれ助けてくれることも増え、私ばかりが我慢したり困ることが減りました。そして何より、息子をより一層好きになりました。

After



Before



親も子も互いの欲求を大切にしながら、勝ち負けのない話し合いができます。第二法(勝負なし法)

